

# 山行報告

9月19日 比良山系 武奈ヶ岳

伊藤 多恵子

山名	比良山系武奈ヶ岳	山行名	個人山行
ルート	イン谷口～青ガレ～金糞峠～尾根道～武奈ヶ岳～八雲ヶ原～ダケ道～イン谷口		
山行日	9月19日(日)	天候	晴れ
参加者	リーダー：伊藤(多) サブリーダー：玉井 男性：永井 女性：秋山、幾田、蒲田、倉光、玉置、日野 合計：9名		

省略	コースタイム					
	地名		時：分	地名		時：分
イン谷口 登山口	集	8:45	武奈ヶ岳	着	12:55	
	発	9:00		発	13:30	
青ガレ	着	10:00	八雲ヶ原	着	14:25	
	発	10:10		発	14:30	
金糞峠	着	10:55	北比良峠	着	14:40	
	発	11:05		発	14:45	
コヤマノタ ヶ分岐	着	12:20	イン谷口	着	16:30	
	発	12:25		発	16:40	

元々は新会員さんたちに比良を案内したくて計画したのですが、公開登山に指定されました。コロナ禍で準備も遅れがちなところへ、緊急事態宣言により中止が決定。個人山行として実施することに。当初は18日に予定していましたが、雨マークが消えないまま台風まで加わり、一日延期することに。18日朝は、湖西線が止まっていたので、いずれにしても実施不可能でした。

電車、バスと乗り継いで9時前にはイン谷口に到着。青空がまぶしい。連休のさなかでもあり、バスは混雑したが、青ガレコースに向かう組はそれほど多くない。比良はコースが多いのでけっこうばらけるのだ。CLの私が久しぶりの登山でもあり、ゆっくりペースで登る。比良が初めての人もいたので、青ガレとそれに続く金糞峠へのガレ場の上りは特に慎重に。金糞峠に出ると、琵琶湖も見えてほっと一息。いったん下って気持ちのいい沢沿いを進み、壊れかけの橋を3つほど渡って尾根道へのルートに入る。だらだら上りのここがちょっと我慢の要るところだが、時折吹き抜ける風に励まされる。青空に向かって尾根道を上り切ると、コヤマノタヶに通じる小道に。ブナ林をのんびり下ると、やがて目前に舟のような形の武奈ヶ岳が見えてくる。最後の急な上りは深くえぐれた本来の道を避けて右斜面をショートカット。

予定より少し遅れて頂上に到着。空にはうっすら雲がかかっているが竹生島の浮かぶ琵琶湖が見渡せる。風を避けて岩陰でゆっくりと昼食。集合写真を撮った後で、下山開始。スキー場跡の斜面を下って八雲ヶ原へ。頂上でAさんが最終バスに間に合うようにとハッパをかけてくれたので、休憩時間もそこそこに八雲ヶ原から北比良峠を経て、ダケ道を下る。だんだん脚が重くなるも、バスの発車時間の10分前に無事バス停に到着。7時間半の行程に最後までよく頑張ってくださいました。みなさま、お疲れさまでした！

花も紅葉もない時期なのが残念でしたが、季節やコースを変えて是非また比良を訪れて下さい。  
(ヒヤリハットなし)



## 9・19 武奈ヶ岳感想文

蒲田

秋晴れのすがすがしいお天気の中、念願の武奈ヶ岳へ登りました。川のせせらぎを聞きながら歩きはじめ、岩を登り、時折吹く風は心地よくも寒くもありました。ブナの白い幹が陽に照らされ目立ちます。季節によってはブナが水を吸い込む音がするそうですが、今回は聞こえませんでした。そして木もない見晴らしのよい頂上へと出ました。遠く琵琶湖、蓬莱山も見えます。昨年の初心者教室では武奈ヶ岳の山行が変更になり、それ以来ずっと登ってみたいと思っていた山でした。とても気持ちのいい一日になりました。

ご一緒してくださった皆様、お世話になりありがとうございました。

玉置

台風がまた来て今回も中止かと思っていたのですが、翌日に延期して頂き、ただただうれしかったです。武奈ヶ岳は雪の頃に行ったものの時間切れで手前の山で引き返すことに。思い焦がれてあれから2年。やっと行けました。ありがとう伊藤さん。

人気な山だけあって人は多い。青ガレはアドベンチャーみたいで楽しい。あとは登りが長い。でも登りごたえはありますね。

バスの中で堂満岳に行かれる方もいてもっと比良の山も色々登ってみたいです。ありがとうございました。楽しかったです。

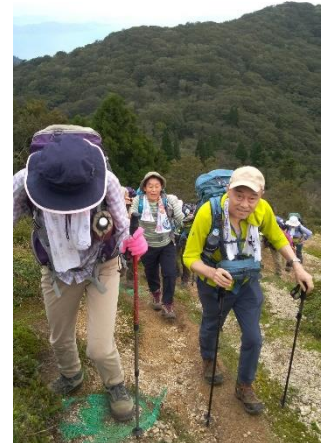
永井

初心者教室に入った時より 武奈ヶ岳 の名前はよく耳にしており、滋賀県の友人からも「武奈と一緒に登りましょう」と声を掛けてもらっていた。ただ体力的に結構キツイと聞いており、なかなか一步を踏み出せずにいた。コロナ渦の影響で暫く山登りできなかったが、計画の登りルート青ガレ・下りのダケ道は、昨年の夏山トレで経験しており、もう少し頑張れば登れると根拠の無い自信が湧きあがり参加

した。

当日は連休中日の天気の良い日で、比良駅からのバスは多くの登山者で込められていた。隣に座った女性は何度も一人で武奈に登っていると話され、皆さんが”武奈ヶ岳”って言う感じが解ったような気がした。

イン谷口バス停から少し先の駐車場付近で準備体操してスタート。青ガレまでは白い河床と澄んだ水が流れる沢を並走する。水量が多く玉石で撥ねる水の光景は、大げさであるが奥入瀬を思い出させる。先導 CL さんが、息が上がらない程度で歩いて頂いたのと、青ガレの経験があった事で特にきつく感じず登りの負荷を楽しめた。金糞峠手前で振り返ると、木々の間から琵琶湖を眺める事ができ、気持ちが和らぐ一時であった。峠から少し下った後はコヤマノ岳まで緩やかな長い登りが続き若干のしんどさを感じたが、CL さんからの「もう少しですよ」と気持ちを上げる声掛けで前に進められた。近づくにつれブナ林が現れ、その光景に気持ちが和らぐ。



武奈ヶ岳頂上（1214m）からは広がりのある琵琶湖や比良山地を見渡せられる 360°パノラマ。素晴らしい景色を満喫し、やっと登った感で大満足。

ここまでは気持ちよい山登りであったが、下り始めるとすぐに右膝に違和感を覚える。進むにつれて痛みが変わり、段々と強くなる。右膝をかばいながら進むと今度は左にも違和感が。ダケ道は大きな石の段差が連続する長い下りで、痛みとの闘いになった。ダケ道がこんなにも厳しい下りであったのか記憶が無い。後で考えると昨年の夏山トレに比べ距離で約 5km、標高差で 400m 強増えているのだから、負荷も相当増えたのであろう。加えてコロナ渦で山行間隔があいたことも影響していると思う。筋力トレを行っていたのだが、やりすぎたかも???

楽しい気分での登りと下りの苦痛の連続は、今まで経験したことの無い山行であった。でも、武奈に登れてよかった。

CL さん、皆さんありがとうございました。

## 日野

武奈ヶ岳は二期生にとって、教室の最後で計画変更になった残念さが残る山です。よく耳にする、「アオガレ」とか「イン谷口」とか山に行かない人は耳にしないう場所に行く日ですね。雨天で一日伸ばして、セイコーというほど気持ちの良いお天気でした。そんな人たちが多くのか、バスは混みあっていました。

昨年 12 月、たまたまメンバーに入れてもらって、坊村から登った経験はあります。いきなりの急登で、くじけそうになり、そのしんどさは、初心者教室の行先変更を大いに納得させられるものでした。今回のイン谷口からは楽なのかと思いつつ、登り始めましたが、いえいえこれもきつい。その時、リーダーさんが、「登り始めて、うまく汗をかいて、慣れるまで、30 分くらいね」そのようなことをおっしゃいました。今日のワンポイントレッスンと沁みました。

私は数少ない経験の中、登り始めの 1 時間くらいは、今日の無事を思いながら、不安感との葛藤があります。でも今のところ、無事こなせています。そう言う体の仕組みが応援してくれるのでしょうか。いつも現場で、身をもって教えていただく、経験の積み重ねをありがとうございます。